ARI サーベイランス（12 月現在）について

資料4-1

衛生環境研究所ウイルス科

今年度から開始された急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスは、定点医療機関から感冒症状（咳、鼻水、鼻閉、咽頭痛、呼吸困難）の患者検体を毎週提供いただき、年間を通して病原体（主にウイルス）の流行状況を把握する取組みです。

令和 7 年 12 月までの検出状況を図 1 及び図 2 に示しました。4 月は RS ウイルス、ヒトメタニューモウイルスが多く検出され、5 月下旬から 8 月にかけてはパラインフルエンザウイルスの検出割合が増えました。また、7 月下旬から 10 月中旬にかけては新型コロナウイルスが多く検出されました。10 月中旬からインフルエンザ AH3 型の検出が増えました。アデノウイルスは 5 月から 8 月に散発的に検出され、ライノ/エンテロウイルスは時季による傾向はみられず期間を通して検出されていました。なお、ライノ/エンテロウイルスについては追加でシーケンス検査によってウイルスの種類を同定していますが、同定できたほとんどがライノウイルスでした。

図1　病原体別検出状況（愛媛県）

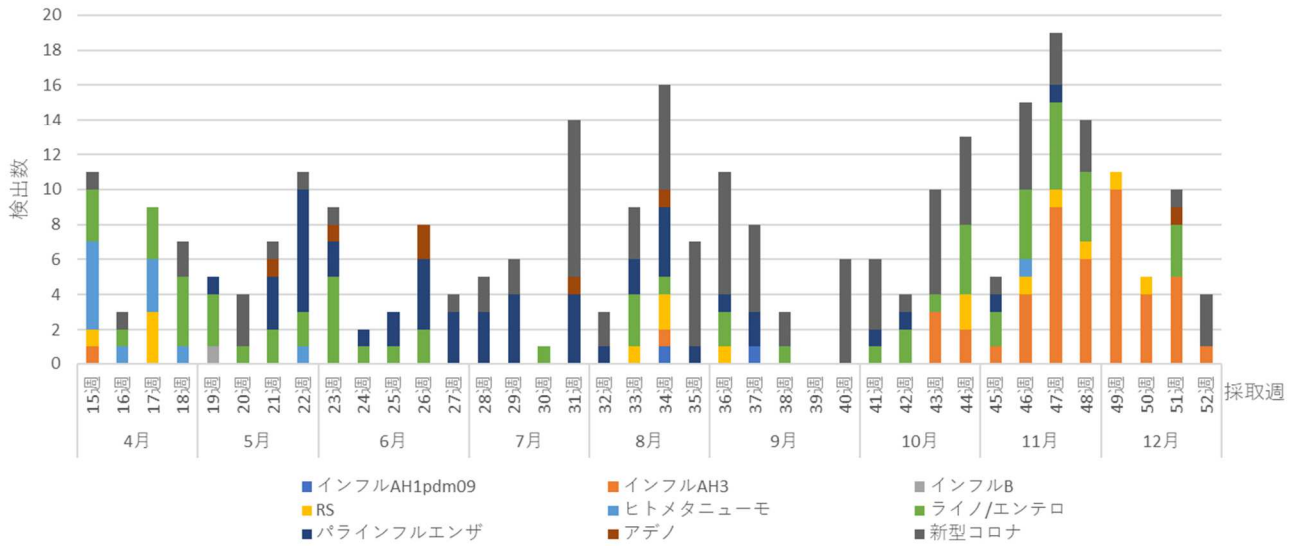
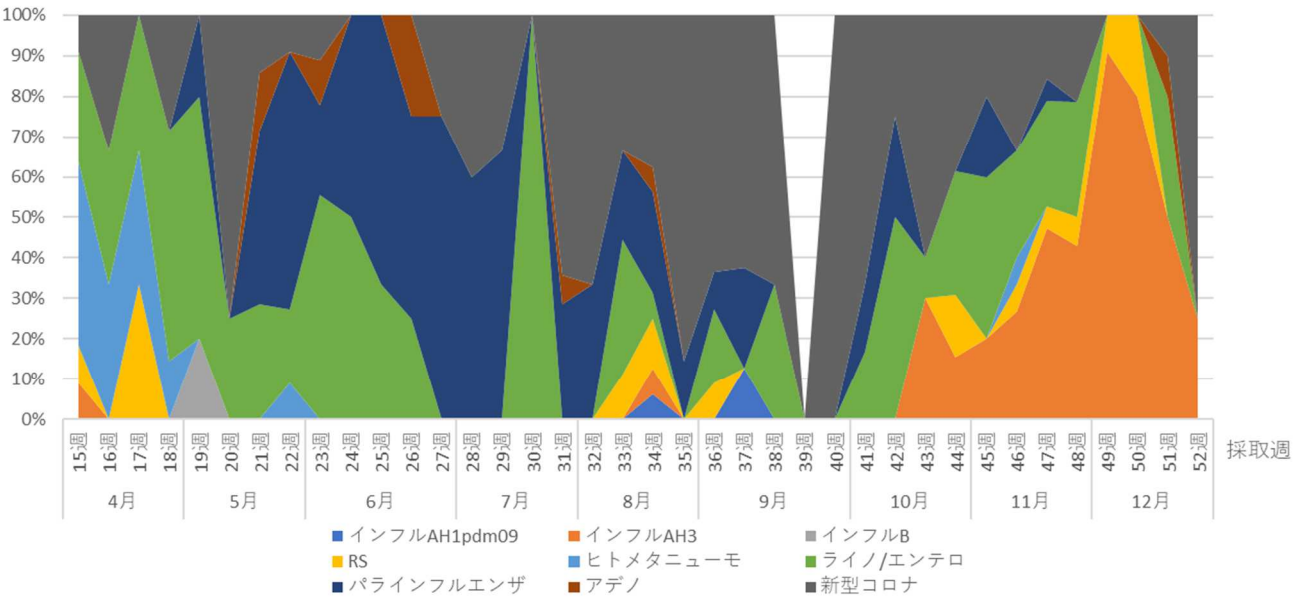
図2　病原体別検出割合（積み上げ%）